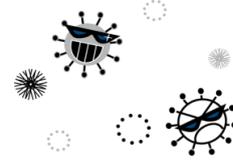


新型インフルエンザの大流行が社会的にも大きな問題となっていますが、皆さんの周りでもきっと数人は罹った方がいるでしょう。もしかして自分もうつったという人もいることと思います。まだまだこの感染は広がっていくと思いますが、個人個人が十分に気をつけつつも、落ち着いた対応をしていきましょう。今回は少し関連のあることで「咳」について取り上げてみます。

咳のお話・・・



咳ってどんな時に起こるの？

病気にかかっている時だけでなく、医学的にも明らかに健康な時であっても咳は起こるものです。つまり、咳は病気の症状としてだけでなく身体の反応としても起こりうるものであると考えられます。

免疫と咳

咳が出る原因の一つには、免疫機構の働きがあります。病気の原因になる細菌やウイルスといった異物の体内への侵入を防ぐ為の防衛システムで、鼻や喉の粘膜の分泌する粘液や排気によって侵入した異物を体外に排出しようとします。この免疫機能によって、咳が発生します。



反射と咳

人間の身体には、意識的に行われる行動以外に刺激に対する反射として起こる不随意行動があります。咳もそうした反射による不随意行動の一種として起こる場合があります。反射によって咳が起こるのは、喉に煙を吸い込んだ場合や気道が一時的に詰まった場合などです。この場合、咳によって排出される空気の勢いを利用して、喉の通りを確保しているのです。



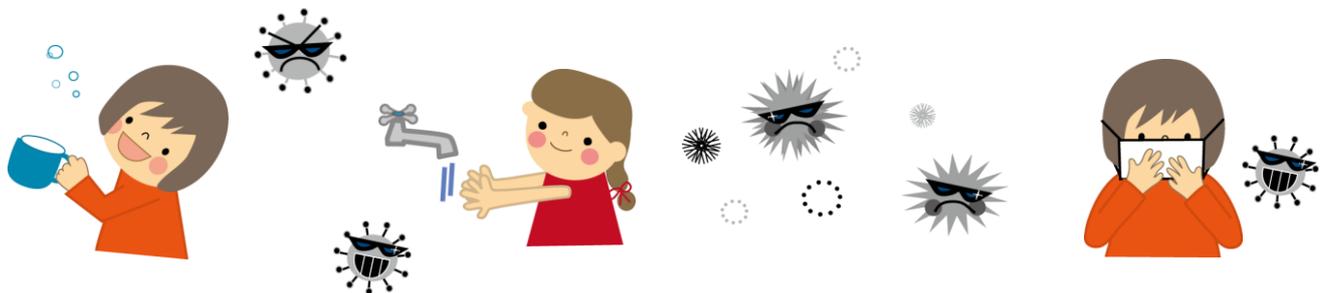
心の働きとしての咳

エヘンと咳払いをすることで見かけることがあります。このような咳払いや、日常生活においては不快感を覚える行為とされることが多いといえます。多くの場合、わざと咳払いをするのは「自分の動揺を隠す」目的と「その場の主導権を握る為の牽制」としての意味があるといえます。地位のある人が行う咳払いは、後者の目的で行われているものといえます。しかし、人前で咳払いを繰り返すことはマナー違反として捉えられることが多いので、あまり行わないようにするのが得策です。



肺を守る為のシステム

喉の免疫機構によって守られている肺は、非常に脆い内臓であるといえます。そのため、肺の手前にある喉で押し留められるように免疫機構が発達しているのです。咳によって排出される異物は多くの場合、目に見えないほどに小さく肺内部の肺胞を詰まらせてしまう恐れがあるものです。咳は、肺の機能を長期に渡って維持していく為に必要なものでもあるのです。



咳の種類ってどんなもの？

気道内分泌物を排除するための正常反応で起こるものと、何らかの疾患によって起こるものがあり、また、その咳の種類も大きく分けて**乾性咳**・**湿性咳**・**犬吠性咳**・**痙攣性咳**・**心因性咳**の5つのタイプに分かれ、その種類により、考えられる病気も様々です。

1) 乾性咳

咳の中でもっとも激しいもので、突き上げるような咳で、しばしば嘔吐を伴う。

- ・上気道の炎症による **気管支炎 特に百日咳、麻疹、気管支喘息、マイコプラズマ肺炎**
- ・胸膜への刺激による **胸膜炎、胸水、気胸**
- ・気道への刺激、乾燥、タバコ、塵を吸い込む、刺激性ガス、などアレルギーの一部による **アレルギー性咽喉頭炎、喉頭痙攣、咳喘息**



2) 湿性咳

一般的に痰を伴うものをいうが、乾性との差が明確でないものもある。

- ・正常反応 気道内分泌物を排除するための正常反応
- ・気道炎症による、**肺炎、急性咽喉炎、急性喉頭炎、気管支喘息(一般)、喘息性気管支炎、気管支拡張症、気管支炎**
- ・気道アレルギーによる (特に乳幼児の)**気管支喘息、アレルギー性気管支炎、咳喘息**
- ・その他 **肺結核、心不全、食道瘻**



3) 犬吠性咳

犬の遠吠えのような咳

- ・ジフテリアが昔はほとんどが**ジフテリア**でしたが今は予防接種の普及でジフテリアは少なく、**急性喉頭気管支炎、急性喉頭蓋炎、急性声門下喉頭炎(仮性クループ)**

4) 痙攣性咳

咳が反復しくり返される為に顔面紅潮して浮腫を来すこともある咳発作です。

- ・**気管・気管支異物**
- ・**感染症 気管支喘息、マイコプラズマ肺炎**
- ・**気道アレルギーの発作、気管支喘息などの喘息発作**



5) 心因性咳

チック、咳払いなどがありますが、よく他の疾患と鑑別が必要です。



あなたは大丈夫！？

たかが咳といってもこれだけの病気の可能性があります。特に気をつけなくてはいけないものに、もちろん新型インフルエンザがありますが、大阪はここ何年も日本で一番結核の発症率が高く、大きな問題にもなっています。大学内でも軽症のため軽い風邪ひき程度で気付かず過ごしてしまっていますが、毎年数十人の学生が新たに結核に感染しており、数年に1~2人は治療が必要となっています。

長引く咳が風邪によるものなのか、気管支炎や喘息などのものなのか、それとも重度の病気によるものか、咳の種類や症状だけでははっきりしたことは分かりません。闇雲に市販薬を飲んでいても時間とお金の無駄になります。もしかしたらと思ったら、早めに病院に行きましょう。

